

『 団結し行動する理事会 』

令和3年2月開催の理事会において工友会会長選考委員会で会長候補に選出され、同年6月評議員会において承認を受け、第18代工友会会長に就任致しました、昭和46年機械科卒の西村龍二です。

私たち工友会会員は、母校である福岡工業高等学校を卒業したという『縁』で結ばれております。

母校は、全国的に統廃合されつつある工業高等学校の中でも福岡県立の工業高等学校においては旗艦校として位置づけられており、全国でも五本の指に入る成績優秀な工業高等学校であり、日本の工業技術者の育成に貢献している工業高等学校であることは、卒業生である工友会員として自負すべきことであることと考えております。その証として福岡の地場企業においては福工卒業生の入社を強く望んである企業が多数おられます。

しかしながら、今年度は創立以来初めての入学生が定員割れとなり、母校入学生の確保方法や母校の魅力を発信する方法などを再考する状況にもなっております。

工友会の基本理念である『会員相互の更なる結束と母校への支援の継続を目指して』を全うしようとするならば、理事・評議員・工友会会員の全ての母校卒業生が基本理念に立ち戻り、基本理念を再認識して頂く必要があると考えており、先入観やわだかまりのない素直な心持ちで、日本の工業技術者を目指している在校生を支援する教育活動支援等の公益目的事業に参画して頂きたいと考えています。

令和3年度からの新体制においては、理事総数24名の内、11名が昭和卒から平成卒に代わり、世代交代が促進され、新たな工友会発展のための発想を期待しています。

新執行部においては、総務部に広報部を吸収して各部会の活動状況を統括的に把握して工友会広報活動を行います。さらに、平成卒会員の工友会活動への参加促進を狙う目的で青年部を格上げして副会長の直轄組織と致しました。

工友会が発展していくためには、時代に合わせた定款の見直しが必要となると考えています。定款の改定見直しについては、工友会定款では評議員総数47名の2/3以上の出席が必要です。

評議員の皆様には常日頃から工友会活動をホームページやフェイスブックなどを参考に厳しく観察して頂きたいと考えております。評議員会の際には工友会発展のためにと考案しました執行部の提案については厳格なご審議をお願い致します。会員皆様におかれましても、ホームページ・フェイスブックでご意見を頂けるように準備しておりますので、工友会活動に対しまして忌憚のないご意見やご希望を頂ければ、幸いです。

母校発展のためにさらなる支援活動を理事全員で団結して推進して参りますので、工友会会員皆様により一層のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般財団法人 福岡工業工友会
会長 西村 龍二